

ケビラゴケ科

ヒラケビラゴケ

Radula complanata (L.) Dumort.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

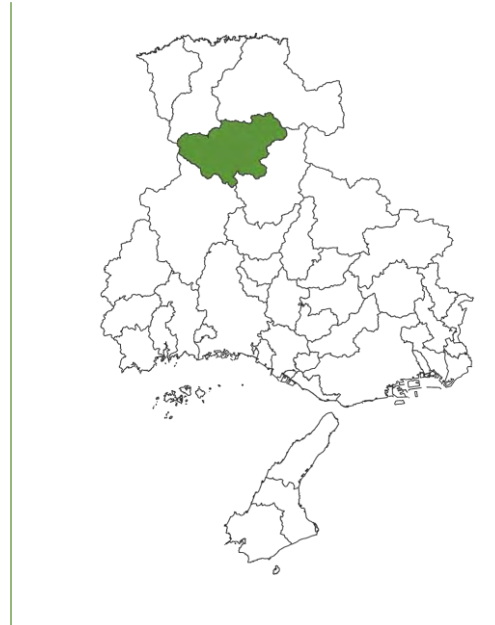
養父市

■ 国内分布

本州(近畿以北)

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

樹皮生で、植物体は黄緑色を帯び、花序はparoicusにつくこと、温帯林に生えることが特徴。現状不明。

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

背片は円頭。花被はふつう茎に頂生し（まれに短枝につく）、新枝を1-2本出す。尾状枝は生じない。腹片の長さは背片の2/3以下。無性芽は背片の縁に生じるか、またはない。葉身細胞の壁は薄く、トリゴンは小さいか、またはほとんどない。油体は各細胞に1個、大型。雌雄同株。花被の直下に雄苞葉がつく。樹幹に生育するが、まれに岩上、土上にも生じる。亜高山帯以上の高地でみられる。